

## (2) 北 区

### <概況>

北区は市の北部に位置し、東は創成川と旧篠路村境界で東区に接し、西は新川を境に西区と手稲区に接しています。また、南は JR 函館本線で中央区に接し、北は発寒川、茨戸川、石狩川を境に石狩市、当別町と隣接しています。

地形は平坦で山がなく、多くの河川や屯田防風林など、特徴的な自然景観を有しています。また、地質・地盤は南地域の一部を除き、粘土質の土並びに泥炭からなり、軟弱です。

昭和 20 年代までは、区の南部が市街化しており、他の地区は農業・酪農地帯でした。30 年代に入り、札幌市の人口規模の急膨張に並行して、新琴似、屯田、篠路地区などの市街化が進みました。現在は屯田、篠路、あいの里などの地域が新興住宅地として発展を見せているとともに、人口も約 29 万人と 10 区の中で最も多くなっています。

### <アクションプラン 2019 におけるまちづくりの取組>

北区ではこれまで、地域住民や学生と連携した各種まちづくり活動をはじめ、災害に備えた避難場所運営研修のほか、歴史資源を活用したまちづくりや、健康寿命延伸を目指した健康づくり等を地域住民と協働で行ってまいりました。

特に、北区北部地域の区民の利便性向上を図るため、篠路出張所の機能拡充を行い、出張所の増築とバリアフリー化、福祉分野 19 項目の窓口サービスを新たに開始しました。

また、地域の特色ある歴史や文化を活用するため、「北区歴史と文化の八十八選」のスマートフォン用ウェブサイトの制作や、コースガイドのリニューアルを実施したほか、「農村歌舞伎」については、保存・継承団体へのヒアリングや他都市事例の調査を踏まえ、今後の支援の方向性をまとめた「北区農村歌舞伎の保存・継承に係る支援について」を策定するとともに、PR 動画やリーフレットの制作を行いました。

さらに、健康づくり・介護予防を推進する取組として、北海道大学大学院保健科学研究所との連携協定に基づく高齢者を対象とした介護予防教室や講話を実施するとともに、区民の交流促進と運動習慣の定着を目的とした「ぽっぴいウオーキング会」の開催や、各世代別の食育ランチオンマットの配布等、多角的な取組を進めてきました。

### <取組目標・主な取組>

<b>目標1:誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち</b> 町内会に加え、企業やNPO、学生団体など、多様な主体が参画することにより、まちづくりのより一層の活性化を進めます。	
<b>北区アダプト・プログラム支援事業 (★)</b>	北区内にて道路清掃等のボランティア活動に取り組む企業や団体に対し、清掃用具の提供等の支援を行うほか、新たな企業・団体の参加を促します。
<b>若者支援・連携事業 (★)</b>	若者との協働、若者を中心としたネットワーク等の構築により、地域のにぎわいや活力を生み出し、魅力ある地域づくりを目指します。
<b>「ぽっぴいフェスティバル」事業 (★)</b>	歴史や文化の魅力を発信しつつ、健康づくり等の多様な分野を取り上げ、区内の市民団体や区民が世代等を超えて交流する区民まつりを開催します。
<b>目標2:歴史、文化を保存・継承することにより、地元への愛着を育むまち</b> 豊かな歴史や文化を保存、活用し、新たな魅力と価値を生み出すことで、北区への愛着を育むまちづくりを進めます。	
<b>北区歴史と文化の八十八選保存継承事業 (★)</b>	「北区歴史と文化の八十八選」について、後世への継承をはじめ、事業PRの強化や子ども向け学習などをテーマにしたイベント企画に取り組みます。

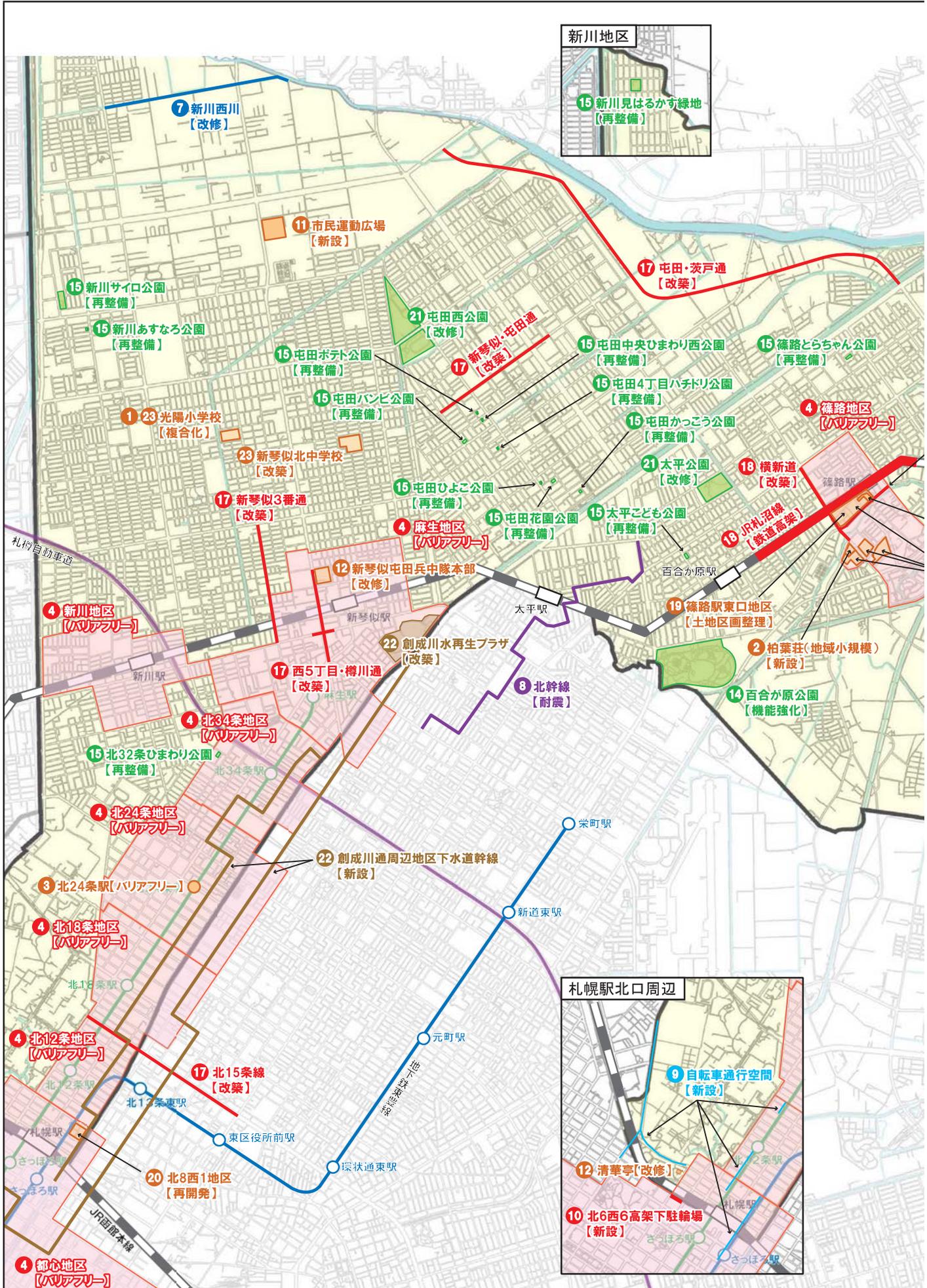
北区農村歌舞伎の保存・継承(★)	北区の伝統芸能である農村歌舞伎の保存・継承活動が継続できるよう、保存・継承活動に対する助成や広報・PRなどの必要な支援を行います。
「藍栽培」の歴史と文化の伝承(★)	篠路地区を中心とした一帯で盛んであった藍栽培の歴史を知ってもらうため、「藍の種」の配布や小学校などでの体験授業等を実施します。
亜麻の魅力発見事業(★)	麻生の地名の由来となった亜麻と地域との関わりを学べるよう、親子が楽しく北区と亜麻の歴史を学べる体験型のイベント等を開催します。

<b>目標3:安全・安心に暮らせるまち</b> 地域の防災への取組を支援するとともに、交通安全運動の推進により、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。	
北区地区防災マップづくり支援(★)	災害への備えの促進と地域における防災意識の醸成を図るため、地域が独自に作成している防災マップの製作に当たり、経費助成による支援を行います。
みんなで作る安全で安心なまちづくり(★)	通行環境に関する安全性の向上などを図るため、学校周辺の環境の整備として、スクールゾーン看板や歩道上のストップマークなどを設置します。
災害時につなげる高齢者等要配慮者の見守り体制推進(★)	地域での見守り支え合い活動を推進し、災害時の要配慮者避難支援につなげるよう、情報提供や研修・啓発を行います。

<b>目標4:誰もが健康的に暮らせるまち</b> 子どもが健やかに育つとともに、健康寿命の延伸により、誰もが生涯元気に活躍できるまちづくりを進めます。	
ぽっぴいはっぴいプラン～地域とつくる「きたまち」すこやか事業～(P.61)	区民の健康寿命延伸に向け、区まちづくりキャラクター「ぽっぴい」を活用し、地域と連携して区民の健康づくりへの関心を高めるための各種事業を行います。
子育て家庭にやさしいまちづくり(★)	親子が、地域住民や学生と遊びを通して交流する「GO!GO!きたっこまつり in ぽっぴいフェスティバル」を開催します。
北区少年少女スポーツ大会(★)	少年少女の相互交流を図り、少年少女の健全育成にあたり、同時に、「スポーツ元気都市さっぽろ」の推進を図るためスポーツ大会を開催します。
冬季スポーツイベント(★)	雪合戦などの冬季スポーツ種目を通じて、雪中での遊びやスポーツに気軽に触れられる機会を提供し、冬季における区民の健康・体力づくりを図ります。
高齢者教室(北親大学)(★)	高齢者が様々な物事に興味・関心を持ち続け、積極的に挑戦していくことで生きがいを感じ、健康で豊かな生活を送れるよう高齢者教室を実施します。

<b>目標5:誰もが快適に暮らせるまち</b> 北区北部地域の行政機能を強化することで、子ども、高齢者、障がい者などに関する行政サービスの利便性を高め、誰もが生活しやすく住みよいまちづくりを進めます。	
篠路出張所機能強化事業(P.70)	保健福祉に係る窓口サービスを拡充した篠路出張所へのアクセス通路を整備することで、行政手続きのために誰もが来所しやすい環境をつくりまします。

注) 事業名内の(★)は、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」(P.77)による実施





# 北 区

北区まちづくりキャラクター  
ほっぴい



## 事業一覧

No.	事業名	ページ
①	児童会館整備事業	47
②	社会的養護体制整備事業	54
③	地下施設バリアフリー化推進事業	66
④	安全・安心な道路環境の整備事業	69
⑤	篠路出張所機能強化事業	70
⑥	災害に強い下水道の構築事業	83
⑦	総合的な治水整備事業	83
⑧	配水幹線連続耐震化事業	83
⑨	自転車の通行空間整備事業	85
⑩	放置自転車対策推進事業	87
⑪	(仮称)新琴似市民運動広場整備事業	107
⑫	文化財施設等保全事業	110
⑬	篠路清掃工場解体事業	117
⑭	公園の官民連携推進事業	119
⑮	地域と創る公園再整備事業	120
⑯	篠路駅周辺地区まちづくり推進事業	124
⑰	骨格道路網等整備事業	125
⑱	篠路駅周辺連続立体交差等整備事業	125
⑲	篠路駅東口土地区画整理事業	125
⑳	北8西1地区市街地再開発事業	127
㉑	安全・安心な公園再整備事業	131
㉒	下水道施設の再構築事業	132
㉓	学校施設新改築事業	132
㉔	学校施設増築事業	132



### 地図の見方

- 整備箇所の名称
- 26 中央区複合庁舎【複合化】
- 具体的な整備内容
- 事業一覧の番号

### 地図の凡例

- 道路(施設)整備
- 歩道バリアフリー整備
- 自転車通行空間
- 河川整備
- 下水道(施設)整備
- 公園整備
- 水道(施設)整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です  
検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

## (3) 東 区

### <概況>

東区は札幌市の北東部に位置しています。東は白石区、江別市、当別町と、西と北は創成川と旧篠路村境界で北区と、南は JR 函館本線を境に中央区と接しています。人口は約 26 万人で北区に次いで第 2 位となっています。

東区は、農業、工業、商業の三拍子がそろったバランスの取れたまちです。農業では、経営耕地面積が 10 区中 2 番目の広さであり、東区の特産であるタマネギのほかコマツナを多く栽培しています。工業では、明治時代からの工業地帯である苗穂地区に JR 苗穂工場や大規模な食品工場があり、丘珠地区には鉄工団地があります。

東区には大規模施設が相次いで整備されました。1995 年に「札幌市農業体験交流施設（サッポロさとらんど）」、1997 年に「札幌市スポーツ交流施設（つどーむ）」がオープンしました。2005 年には故イサム・ノグチ氏の設計による「モエレ沼公園」がグランドオープンとなり、いずれも札幌を代表する施設として多くの市民が利用しています。

### <アクションプラン 2019 におけるまちづくりの取組>

東区では、区役所と関係団体や企業、教育機関等との協働・連携により以下のとおりアクションプラン 2019 に基づく取組を進めてきました。

「安全安心」の取組では、自主防災意識の向上を図るため、区民協議会との協働により自主防災活動（防災訓練・防災研修会）の支援や防災普及啓発を行いました。

「健康」の取組では、健康・スポーツ・食をテーマとし、幅広い年齢層やご家族連れの方も参加できる体験型のイベントを実施するとともに、テーマに沿ったコラム等を掲載した冊子を作成して区民へ配布しました。

「子育て・子ども」の取組では、学べる環境の整備に向けて、関係機関との協働により施設見学や企業活動などの体験を実施しました。

「東区の魅力と活力の向上」の取組では、区の魅力を広く発信するため、各種イベントでの PR や、動画・パンフレット・SNS による広報を実施しました。くわえて、スタンプラリーの実施により誘客・周遊を促し、にぎわいの創出を図りました。

### <取組目標・主な取組>

<b>目標1:誰もが健やかに暮らせるまち</b> スポーツを通して、誰もが生涯健康的に過ごすことができる取組を進めるとともに、関係機関と連携し区民の健康意識の向上を図る取組を進めます。	
<b>健康・スポーツを生かした地域活性化事業（P.107）</b>	スポーツ振興や健康増進の取組を行う企業・団体等と連携し、未来を担う子ども・若者たちを始めとする、幅広い世代の方々が気軽にスポーツに触れる機会を創出します。
<b>ひがしく健康・スポーツまつり（★）</b>	健康・スポーツ・食をテーマに、幅広い年齢層の多くの区民が参加・体験できるようなイベントを実施し、健康のための食習慣・運動習慣を身につけるきっかけの場を提供します。
<b>東区健康づくり推進事業※1</b>	関係機関と連携しながら区民が健康づくりに取り組むきっかけとなる機会を提供し、運動習慣の利点等を普及啓発することにより、東区民の健康意識の向上を図ります。

<b>目標2:安全で快適な住みよいまち</b> 札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例の意義や趣旨を踏まえながら、町内会など地域のまちづくり活動の活性化を支援します。また、地域における防災意識の醸成を図り、地域防災力の向上に向けた支援を行うとともに、地域のニーズを踏まえた冬みち環境の構築に努めます。	
<b>東区町内会活動活性化支援事業※2</b>	地域を支える町内会への加入を促進し、活動の活性化を図るため、東区に転入された方などを対象として、町内会の役割や取組についての周知を図ります。
<b>東区安全安心なまち推進事業(★)</b>	「東区防災協働社会」を構築するため、各地区のニーズに応じた自主防災活動の支援を実施するとともに、若年層や子育て世代等の多様な世代に対する防災普及啓発を行います。
<b>東区冬みち地域連携事業※3</b>	小学校での雪体験授業や除雪ボランティアの支援に加え、商業施設でのパネル展の実施など、地域と除排雪の課題を共有することで、地域と連携して良好な冬みち環境の構築に努めます。

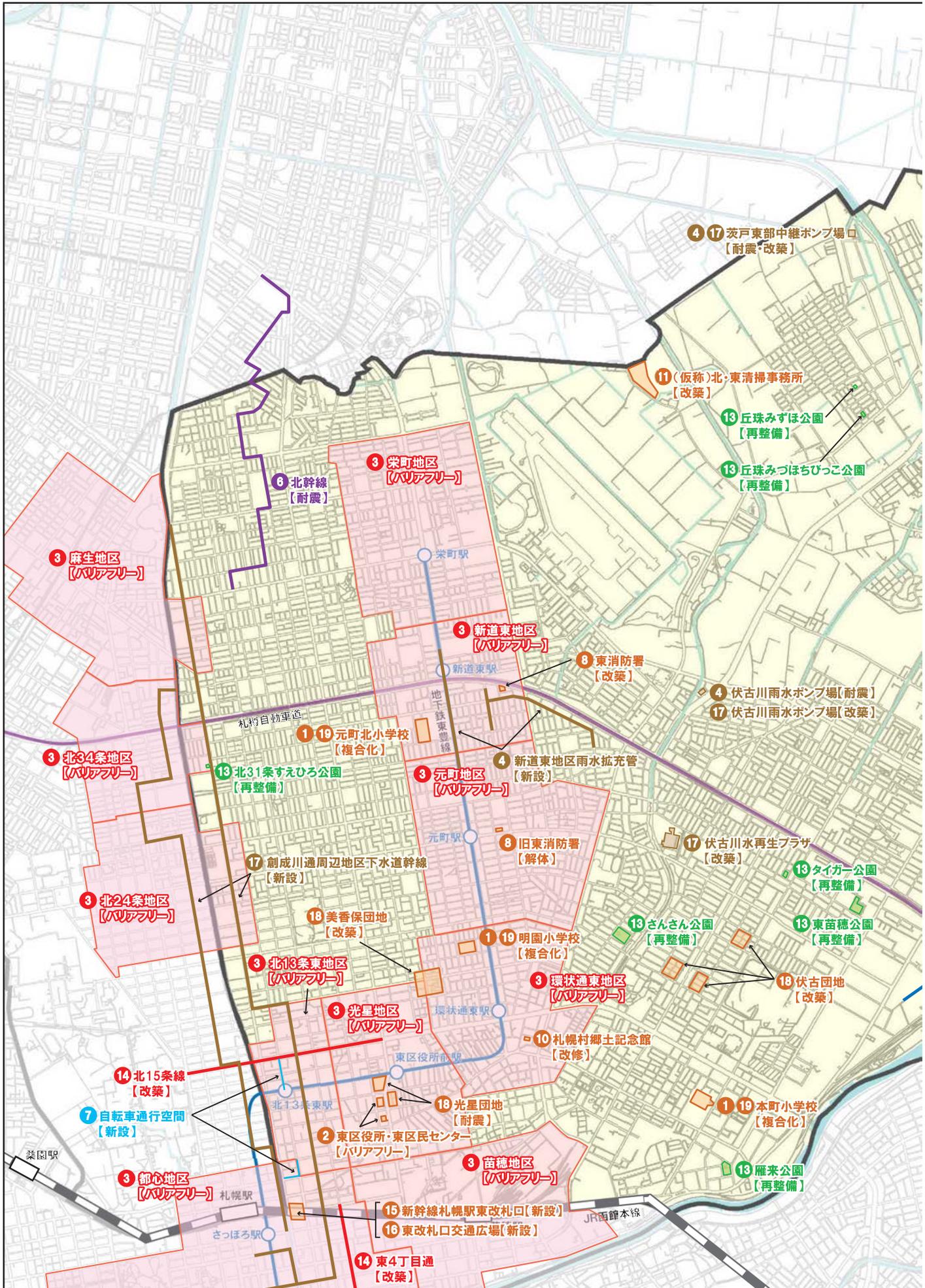
<b>目標3:魅力と活力にあふれたにぎわいのあるまち</b> 東区の企業・学校・団体等との協働により魅力あるまちづくりを進めるとともに、東区への来訪や周遊を促すことによって、より一層地域のにぎわいを創出します。	
<b>タッピーフレンズ事業(★)</b>	区と協力して地域貢献を行う企業・団体等を特別な仲間「タッピーフレンズ」と位置づけ、産官学民の積極的な連携を促すことにより、地域貢献活動の普及拡大並びに地域活性化の促進を図ります。
<b>東区地域連携魅力創出・発信事業(P.98)</b>	タッピーフレンズの連携を促し、東区ならではの魅力資源(特産品・サービス等)の企画・開発等を支援することにより、区の魅力強化と地域のにぎわい創出を図ります。

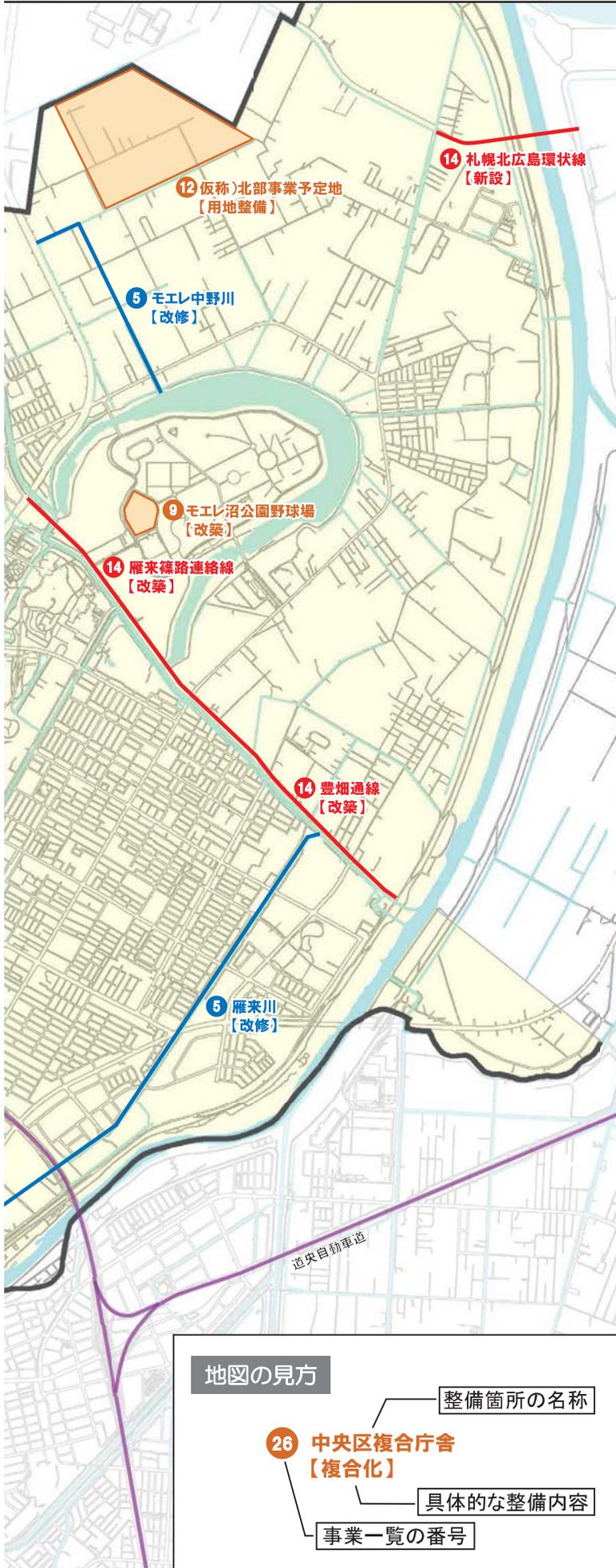
注) 事業名内の(★)は、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」(P.77)による実施

※1「運動習慣等推進事業」(P.61)による実施

※2「町内会活動総合支援事業」(P.76)による実施

※3「持続可能な雪対策推進事業」(P.70)による実施





# 東 区

東区マスコットキャラクター

**タッピー**



## 事業一覧

No.	事業名	ページ
①	児童会館整備事業	47
②	公共施設バリアフリー化促進事業	65
③	安全・安心な道路環境の整備事業	69
④	災害に強い下水道の構築事業	83
⑤	総合的な治水整備事業	83
⑥	配水幹線連続耐震化事業	83
⑦	自転車の通行空間整備事業	85
⑧	消防署改築事業	87
⑨	硬式野球場整備事業	107
⑩	文化財施設等保全事業	110
⑪	清掃事務所更新事業	113
⑫	(仮称) 北部事業予定地一般廃棄物最終処分場造成事業	117
⑬	地域と創る公園再整備事業	120
⑭	骨格道路網等整備事業	125
⑮	新幹線札幌駅東改札口関連整備事業	127
⑯	札幌駅周辺交通施設調査検討事業	128
⑰	下水道施設の再構築事業	132
⑱	市営住宅維持更新事業	132
⑲	学校施設新改築事業	132

## 地図の凡例

- 道路（施設）整備
- 歩道バリアフリー整備
- 自転車通行空間
- 河川整備
- 下水道（施設）整備
- 公園整備
- 水道（施設）整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です  
検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

## (4) 白 石 区

### <概況>

白石区は市の東部に位置し、北は江別市と、南は東北通を境に豊平区及び清田区と接しています。また、東は厚別区、西は豊平川を境に中央区と東区に隣り合っています。

地下鉄沿線を中心に集合住宅が多く、また、人口密度が10区で最も高いとともに、生産年齢人口の割合が高く、老年人口の割合が低いという特徴（いずれも10区で2番目）があります。

区内には、東西方向にJR線、地下鉄、主要幹線、白石こころ一ど（旧白石サイクリングロード）が、南北方向に道央自動車道や環状通が配されているなど、整備された各種交通網が生活の利便性を高めているとともに、区の東部に広がる流通センターは道内の物流拠点となっています。

また、「札幌コンベンションセンター」や「JICA北海道（札幌）」等の施設もあり、札幌市の集客交流や国際交流の拠点としての役割も担っています。

### <アクションプラン 2019 におけるまちづくりの取組>

白石区では、区民が「白石区に住んで良かった・住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを進めています。これを実現するため、目標1「安全・安心で快適に暮らせるまち」として、地域防災力の強化、子育て支援の充実、健康づくりの推進等に取り組むとともに、目標2「地域のチカラ、魅力の向上」として、町内会活動の活性化、若い世代のまちづくり参加、まちの魅力の創造等に、また、目標3「区民のための区役所」として、サービスアップの推進、積極的な情報発信等に取り組んでいます。

アクションプラン 2019 では、地域の災害対応力の向上に向けて、地域の自主防災組織体制の課題調査や防災講座の実施、親子向け防災イベント「白石おやこ防災フェスタ」の開催等に取り組みました。

また、地域コミュニティ活動の活性化に向けて、町内会活動ガイドの作成支援等を行うとともに、健康行動の促進に向けては、白石区の歴史跡を巡るウォーキングコースを検討し、「白石歴しるべウォーキングマップ」を作成しました。

このほか、サービスアップの取組として、婚姻届提出の記念撮影に使えるフォトプロップス(写真を楽しく撮るための小道具)を職員プロジェクトで作成しました。

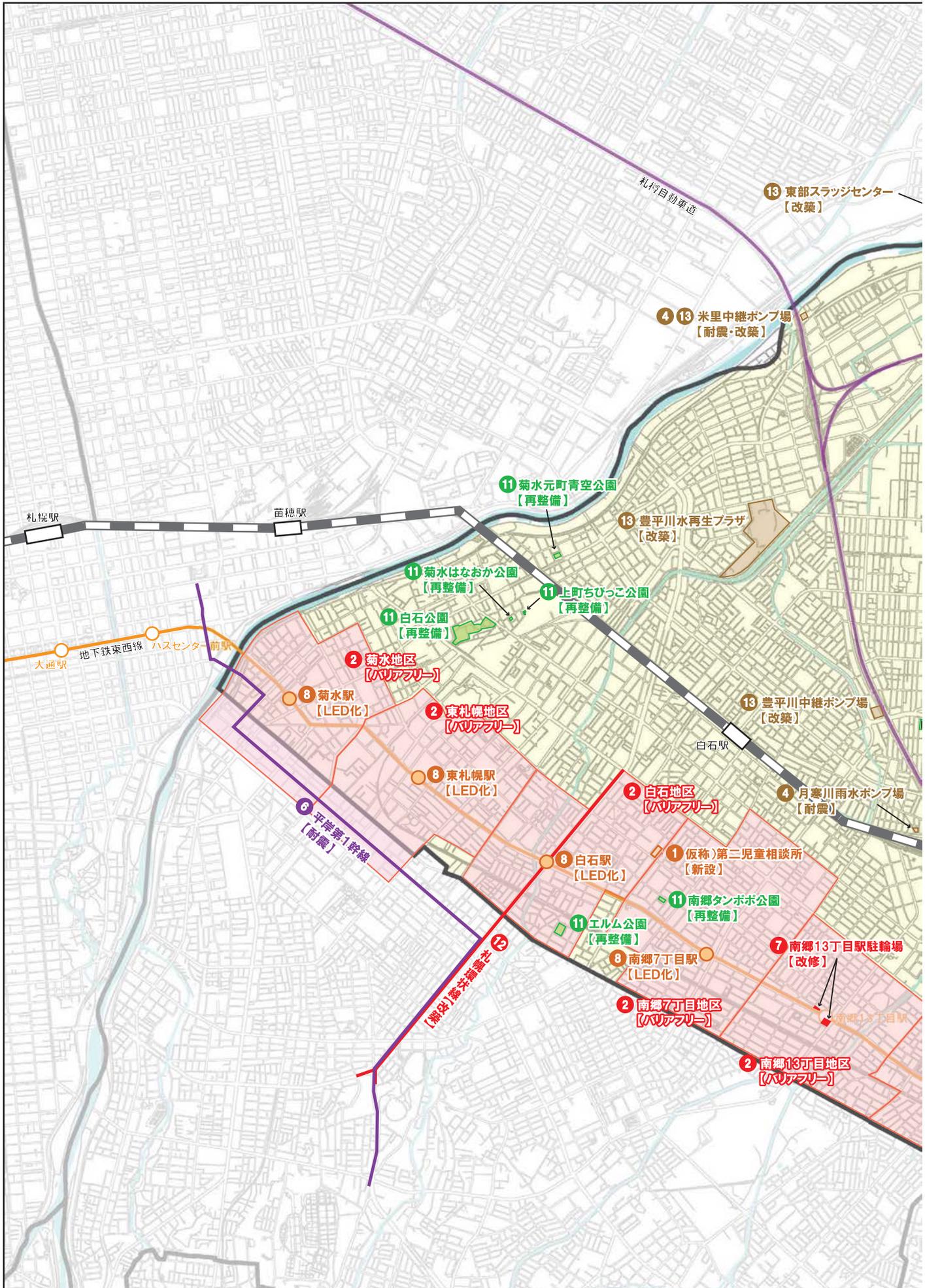
### <取組目標・主な取組>

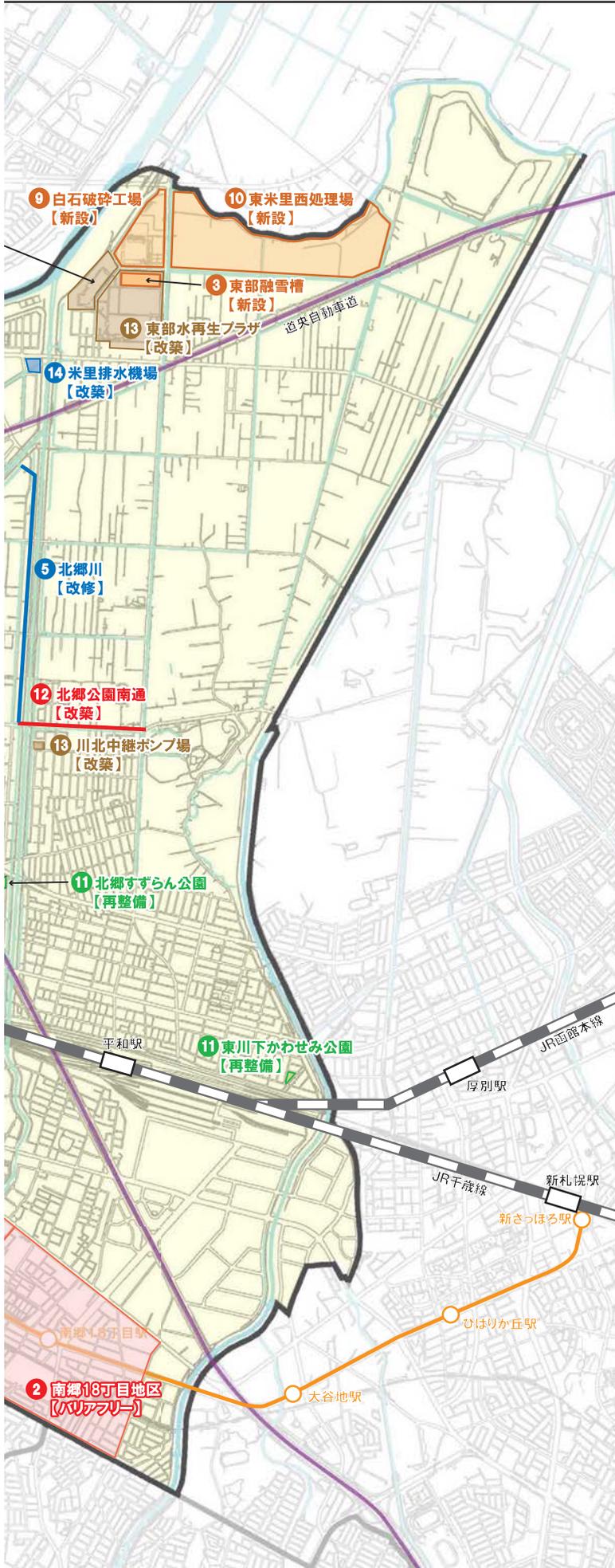
目標1:安全・安心で快適に暮らせるまち 地域防災力の強化、子育て支援の充実、健康づくりの推進等に取り組めます。	
マスコットキャラクター活用による子どもの安全力を育む事業 (P.87)	子どもや親の防犯意識等の向上に向け、区庁舎にある市内唯一のえほん図書館と連携し、区のマスコットキャラ「しろっぴー・くろっぴー」を主人公とした絵本やアニメーションを製作するとともに、これを使った読み聞かせ等の地域活動を促進します。
地域防災力の強化 <sup>*1</sup>	地域の状況に応じて内容を選択できる防災講座を用意するとともに、子どもや親を対象とした防災イベントの実施や、災害時の避難行動要支援者への支援体制の確立に向けて、先進事例の普及啓発や避難所開設運営訓練等を行います。
子育て支援の充実 <sup>*2</sup>	地域主体の子育てサロンの運営支援や子育てボランティアのための講習会などを実施します。
健康づくりの推進 <sup>*3</sup>	健康を意識し、運動や食生活改善に向け自発的に行動する区民を増やすため、区内のウォーキングマップを活用したウォーキング事業等の実施により、気軽にウォーキングに親しめる環境を整えます。

環境にやさしいまちづくり (★)	市民・企業・行政の協働による「白石こころード」の清掃活動等を実施します。
より快適な冬期環境の実現※ <sup>4</sup>	小学生に雪対策への関心を持ってもらうための「雪体験授業」や、地域除雪ボランティアへの除雪用具無償貸与等を実施します。

<b>目標2:地域のチカラ、魅力の向上</b> 町内会活動の活性化、若い世代のまちづくり参加、まちの魅力の創造等に取り組みます。	
<b>地域コミュニティ活動の活性化※<sup>5</sup></b>	地域活動の中核を担う町内会活動の活性化に向けて、町内会活動ガイドの作成や担い手確保の取組などの町内会活動を支援するとともに、加入促進に向けた不動産事業者との連携に取り組みます。
<b>若い世代のまちづくり参加 (★)</b>	区内の小中学生を対象とした就労体験「白石でっち奉公」や、「白石区中学生の主張発表会」等を実施します。また、大学等と協働し、教育・研究活動等とまちづくりの双方に相乗効果が生まれるよう取り組みます。
<b>まちの魅力の発信・発見 (★)</b>	郷土意識や連帯意識の醸成に向けて、白石区ふるさと会と連携し、「ふるさとまつり」等を実施するとともに、地域の成り立ちに縁のある宮城県白石市や登別市との交流を行います。また、区内の見どころや旧跡などを「白石区ガイド」等で発信します。

- 注) 事業名内の (★) は、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」(P.77) による実施
- ※1 「地域防災活動推進事業」(P.80) による実施
- ※2 「地域子育て支援拠点事業」(P.48) による実施
- ※3 「運動習慣等推進事業」(P.61) による実施
- ※4 「持続可能な雪対策推進事業」(P.70) による実施
- ※5 「町内会活動総合支援事業」(P.76) による実施





# 白石区

白石区マスコットキャラクター  
しろっぴー



## 事業一覧

No.	事業名	ページ
①	(仮称) 第二児童相談所整備事業	50
②	安全・安心な道路環境の整備事業	69
③	雪対策施設整備事業	70
④	災害に強い下水道の構築事業	83
⑤	総合的な治水整備事業	83
⑥	配水幹線連続耐震化事業	83
⑦	放置自転車対策推進事業	87
⑧	地下鉄施設省エネルギー化推進事業	116
⑨	白石砕碎工場更新事業	117
⑩	東米里西処理場造成事業	117
⑪	地域と創る公園再整備事業	120
⑫	骨格道路網等整備事業	125
⑬	下水道施設の再構築事業	132
⑭	河川施設等保全・更新事業	132

## 地図の凡例

- 道路（施設）整備
- 歩道バリアフリー整備
- 河川整備
- 下水道（施設）整備
- 公園整備
- 水道（施設）整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です  
検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

## 地図の見方



## (5) 厚 別 区

### <概況>

厚別区は、市の東部に位置し、北東は江別市と、南東は北広島市と接しています。また、南は清田区と、西は厚別川、一部三里川を区境に白石区と隣り合い、面積は 24.38 km<sup>2</sup>と 10 区の中で最小です。

地形は J R 函館本線を境に、北の平野部、南の丘陵部に大きく分かれ、丘陵部は厚別川、野津幌川、三里川、小野津幌川が流れ、全体にゆるやかな起伏となっています。

街並みは、J R 新札幌駅、地下鉄新さっぽろ駅付近を中心とした商業地区と、周辺の住宅地からなっていますが、野幌森林公園など豊かな自然環境にも恵まれています。

### <アクションプラン 2019 におけるまちづくりの取組>

地域防災力の向上と防災体制の強化について、厚別区では、防災訓練や研修等を実施したほか、地域住民を交えた避難所顔合わせなども行いました。

また、健康づくりに直結する「食育」と「運動」を合わせた「食とノルディックウォーキング体験講座」を実施するなど、区民の健康寿命延伸に向け、厚別区の地域特性を生かした取組を行いました。

子育て支援においては、子どもたちの遊びの体験の場の提供や、子育て家庭や地域住民などの世代間交流を深めることを目的とした「わいわい冬フェスタ in もみじ台」を開催するなど、安心して子育てができるよう様々な活動を行いました。

新さっぽろ駅周辺地区のにぎわい創出では、厚別中央市民交流広場及び科学館公園を再整備した上で、利用促進を行い、区民主体のまちづくり活動を促すなど、区中心部の活性化を通して、厚別区全体の活性化を図りました。

### <取組目標・主な取組>

#### 目標1: 区民主体・区民参加・区民サービス

区民が主体のまちづくり活動を、区民とともに考え、行うとともに、多くの区民がまちづくりに関心を持ち、積極的に参加できる機会を提供します。また、区民ニーズや課題を常に意識して業務に取り組み、区民サービスの向上に努めます。

#### 区民協議会支援事業 (★)

区民協議会の運営や活動を支援することで、区民の創意工夫によるまちづくり活動を推進します。

#### まちづくり会議運営支援事業 (★)

厚別区の各地区のまちづくり会議が実施する各種事業への情報提供、広報などの支援を行います。

#### 目標2: 安全・安心、健康づくり、子育て支援

区民が安全・安心に生活し、高齢の方が健康で活躍し続けることができるよう、防災・防犯、健康づくりに関する取組を強化するとともに、道路や公園などの機能保全とバリアフリー化を推進します。さらに、安心して子育てができるよう、子育て家庭のニーズに応じた交流の場や情報の提供などを行います。

#### 防災対策及び地域防災力向上事業 (★)

地域住民や区役所職員に対し、防災に関する各種訓練や研修などを実施することにより、地域防災力の向上と防災体制の強化を図ります。

#### ノルディックウォーキングを通して地域の食とつながる元気アップ事業<sup>※1</sup>

食育とノルディックウォーキングの取組を通して、区民の心身機能の向上を支援し、更に地域の魅力を再発見しながら住民同士のつながりを深め、良好な健康習慣の維持を目指します。

#### 地域における健康づくり活動推進事業<sup>※1</sup>

地域が主催する健康づくりや福祉イベント等を支援することで、地域の健康づくり活動の充実を図るとともに、参加者の健康づくりへの意識づけ及び行動の実践・継続を促します。

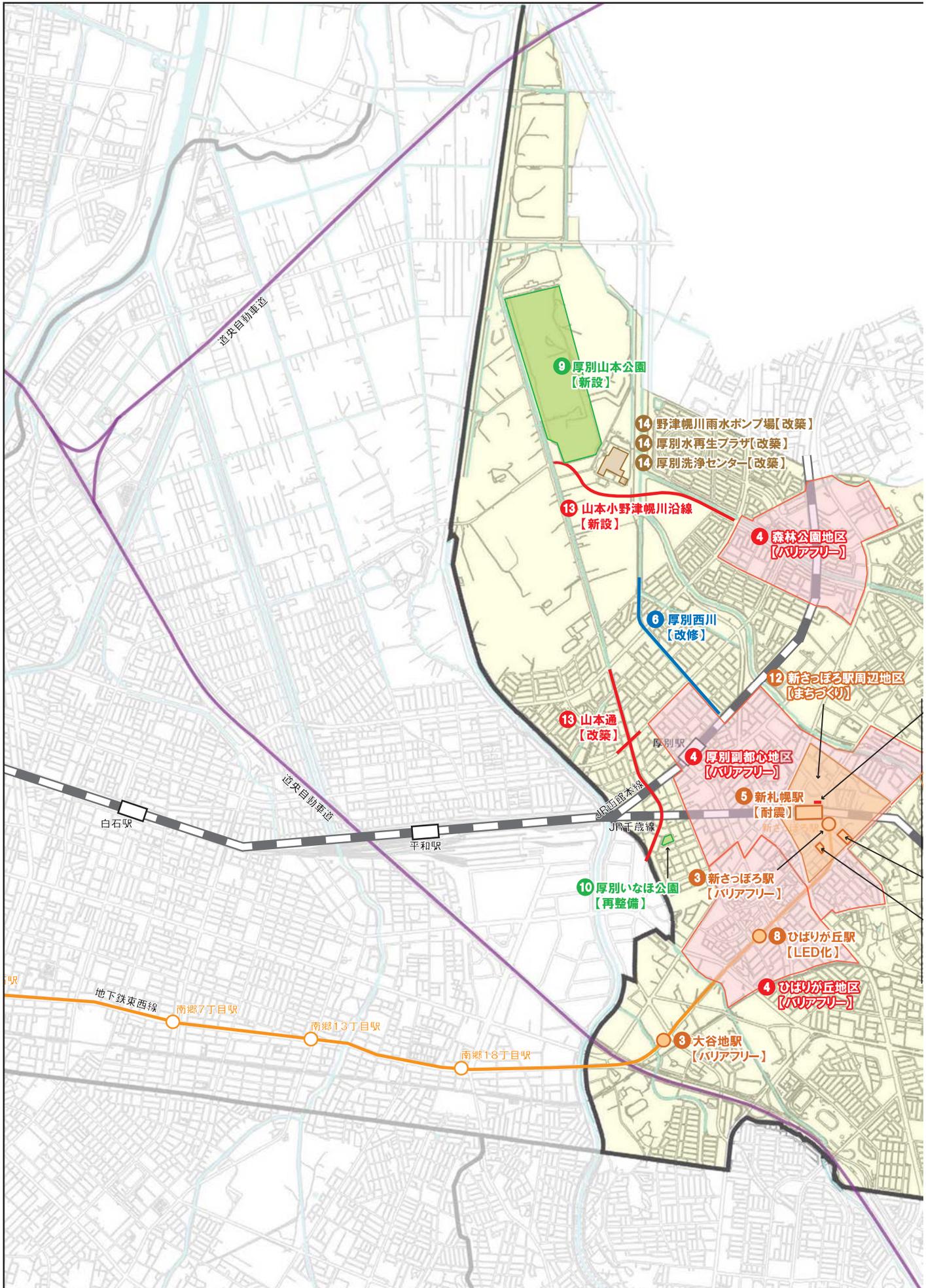
<p>厚別区親子同室講習会「スマイルあかちゃん」※2</p>	<p>同年齢の子どもを持つ家庭が少ない地域においても、保護者同士が関わりを持てるように交流の場を作るほか、地域の子育て支援に携わる主任児童委員が事業に参加することで、親子同士のつながりや地域サロンへのつながりを支援していきます。</p>
--------------------------------	--

<p>目標3:生き生きとしたまちづくりの推進  高齡化率が高いことも踏まえながら、再開発などを契機としつつ、若者から高齡者まで、多世代の人々が明るく生き生きと暮らせるまちづくりを進めます。</p>	
<p>新さっぽろ駅周辺地区のにぎわい推進事業(★)</p>	<p>再開発を契機として、区民と産学官が連携しながら、新さっぽろ駅周辺地区のにぎわいづくりを推進することで、厚別区全体の活性化を図ります。</p>
<p>学生と地域の連携事業(★)</p>	<p>厚別区内の各学校と地域の連携を促進することにより、学生の学びの場を創出するとともに、地域課題の解決を目指します。</p>
<p>厚別副都心地区屋外案内板ユニバーサルデザイン化事業(P.131)</p>	<p>大規模複合開発が行われた厚別副都心地区の更なる活性化を図るため、屋外案内板のユニバーサルデザイン化を行い、年齢の違いや障がいの有無等に関わらず全ての人が周遊しやすい環境を整備します。</p>

注) 事業名内の(★)は、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」(P.77)による実施

※1「運動習慣等推進事業」(P.61)による実施

※2「地域子育て支援拠点事業」(P.48)による実施





# 厚別区

厚別区マスコットキャラクター  
ピカットくん



## 事業一覧

No.	事業名	ページ
①	青少年科学館展示ゾーン等整備事業	58
②	公共施設バリアフリー化促進事業	65
③	地下施設バリアフリー化推進事業	66
④	安全・安心な道路環境の整備事業	69
⑤	交通施設耐震化等推進事業	83
⑥	総合的な治水整備事業	83
⑦	放置自転車対策推進事業	87
⑧	地下鉄施設省エネルギー化推進事業	116
⑨	公園造成事業	120
⑩	地域と創る公園再整備事業	120
⑪	もみじ台地域再構築推進事業	123
⑫	新さっぽろ駅周辺地区まちづくり推進事業	123
⑬	骨格道路網等整備事業	125
⑭	下水道施設の再構築事業	132
⑮	学校施設新改築事業	132



## 地図の凡例

- 道路（施設）整備
- 歩道バリアフリー整備
- 河川整備
- 下水道（施設）整備
- 公園整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です  
検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

## 地図の見方

